

日本共産党 市議会だより

2月定例会報告 第12号 2024年4月
【発行：日本共産党議員団】

・勝川志保子 22-1325
・大井 正 (090)9918-4515
ご意見・ご要望お寄せください



住民の負担軽減、教育や福祉向上の観点から様々な意見を言いました。

帯状疱疹ワクチン接種助成①や高齢者の外出支援助成②などが実現できたこと、値上げされた子どもの給食費保護者負担分が継続補填されたこと、昨年からはまった子どもの医療費助成や補聴器購入助成③が継続されることなどよかったですと思います。請願や要望をあげてくれた市民の皆さんと共に実現できたことを喜んでいます。

さらなる負担増 NO!

● 国保5%、後期高齢者医療保険9,456円/年の値上げに反対。払える税金にするべき。自治体独自減免などを進め、医療・介護をセイフティネットとして支えてほしい。



税金は公平に

- 市役所パート(会計年度任用職員)に昨年度人事院勧告に沿った賃上げをしなかった。
- マイナンバーカードでの各種証明取得にのみ便宜が図られる。問題の多いカード取得にお金をつぎ込んでいる。
- 大企業への優遇策になる企業誘致などより、中小企業、小規模事業所や農家への支援拡大を。
- 松ヶ岡は今後の活用方法がはっきりしないまま、修復、庭園の整備や管理、開園準備の備品購入とふるさと納税の市長裁量分も使われ、他の文化財に比べ、特別扱い。



公共の役割をはたせ

- 広がる委託業務や指定管理では職員の処遇改善もきちんとできない。公共のお金をつぎこんで民間の助けを生み出すDBO方式(公共が資金調達し、設計・建設・運営を民間に委託する方式)や民間譲渡は問題。
- 教育委員会の社会教育部門を協働推進課へ移すのは、文化・スポーツと同様に問題。



子どもの権利と地域を守る

- 中学校部活動の全面地域移行や小規模校の統廃合のための予算付けが本当に子どものため、地域のためになるとは思えない。教育長、教育委員会のやり方は決めたことを市民に説明するやり方で民主的ではない。

2月定例会では53件のうち、41議案に賛成、12議案(予算6, 条例改正2, 人事1, その他2)に反対しました。《すべての議案は賛成多数で可決》
住民目線で審査に参加し、反対議案には上記内容の反対討論をしました。

2023年度政務活動費収支報告書

会派名 日本共産党議員団

1 収入 720,000 円 (2023年4月1日～2024年3月31日)

政務活動費通帳利息 5 円

2 支出

科目	金額	備考
調査研究費	58,151	市民アンケート用紙・封筒・郵便代
研修費	74,542	名古屋研修・オンライン研修(3回)
広報費	310,551	「日本共産党市議会だより」4回発行
広聴費	0	
要請陳情活動費	0	
会議費	0	
資料作成費	0	
資料購入費	90,138	9月・2月定例会資料・書籍購入
人件費	0	
事務所費	16,120	会派室インターネット回線使用料
合計	549,502	

3 残額 170,503 円

視察等はなかなか行けませんでした。オンラインでの研修等を重ねました。

2023年度から予算書と決算書の配布がなくなりました。見比べたり、メモやチェックを入れて読み込むためには必要で印刷物を購入しています。

40,843円 [2人分]



《今後の掛川市議会の予定》

☆6月定例会(6月6日～7月2日)
6月14日(金)・17日(月)・18日(火)
の3日間 一般質問が予定されています。

《市民アンケートでいただいた意見から(抜粋)》

- 物価高で生活が苦しい。
- 税金などの負担が過大。
- 安心して老後をすごせるために、年金でまかなえる介護制度にしてほしい。
- 子育てのための支援をもっと増やして。
- 歩道や道路の補修、整備をすすめてほしい。

昨秋に実施した市民アンケートで300人ほどの皆さんからご回答を頂きました。

問:現在の暮らしはどうか

満足	3.6%
何とかなっている	42.3%
少し苦しい	37.1%
大変苦しい	14.0%

生活を切り詰めて何とかしているものの、苦しい生活をしている方が過半数です。

問:苦しいとお答えになった理由は

① 物価が上がっている
② 医療費・介護費用の負担増
③ 税金や社会保険料が高い

左が上位3項目。賃金・年金減や子育て費用の負担も上げられました。

問:掛川市政に対して期待することは

① 国保税や介護保険料などの減免、引き下げ
② 物価高騰対策
③ 公共交通や移動手段の充実
④ 医療・介護サービスの充実
⑤ 子育て支援の拡充
⑥ 教育費の軽減・教育環境整備
⑦ 給食費の無償化
⑧ 地域間格差の解消・地域振興

大東・大須賀地区からは交通手段の不便の苦情や合併後の不満などが多数ありました。

問:学校再編・部活の地域への移行については

- 小中学校の再編統合計画は少子化でやむを得ないとする声と反対の声が半々でした。
- 中学校部活動の地域移行は教員負担軽減のため賛成・やむを得ないとする声もあったが、送迎、負担増などへの懸念の声や反対の声の方が多かった。

問:政治に頑張してほしいことは

① 物価対策
② 医療・介護の充実
③ 年金制度の充実
④ 消費税減税・インボイス制度の中止
⑤ 賃上げ
⑥ 浜岡原発再稼働の阻止
⑦ 子育て支援拡充
⑧ 教育費の無償化
⑨ マイナンバー制度の強制反対
⑩ 軍拡阻止・憲法9条を守る

今後個別改善要望に対応するほか、皆さんからの声を参考に議員団として政策を練り、今後に生かしていきます。市にも意見を伝えて期待にこたえられるように2人でがんばります。